

上北だはり

294号 平成26年11月28日 練馬区立上石神井北小学校 校長 市川 順康

「集団生活」

校長市川順康

サッカーの内田篤人選手は、最近の雑誌の取材で、「鹿島時代、僕はレギュラーで、試合の翌日は、ジョギングとか、軽めの練習をしてたんです。その横で、レギュラーをとれない同世代の選手が必死で練習していて、メキメキうまくなっていた。それを見て、ここにいたら、自分はいつか追い越されるって、危機感を持ちました。」と述べています。現在活躍しているドイツのチームに移籍した理由の一つであるとも、答えています。

チームのメンバーが、お互いを切磋琢磨して毎日練習することができるのは、お互いが、よきライバルであるからです。「サッカーチーム」という集団の中では、全員が仲間であると共に、スタメンを目標にしているライバルです。その中では、その選手の長所も短所も身近に感じられますし、長所、短所をお互いに指摘し合って、より成長したプレイヤーになろうと努力することができます。「サッカーチーム」という集団の中でないと、つまり、たった一人で練習していても、チームプレーの競技では、成長することができません。お互いの指摘の中には、自分としては不本意なものもあるでしょう。ただ、「自分以外にしかわからない自分の姿」を教えてくれるのは、集団生活を送っている「仲間」だけです。良いところも悪いところも人から教えられることはよくあります。素直な心でそれを受け止め、成長に生かしていくことが大切です。

みつば学級は10月27日から、5年生は、11月6日から、2泊3日、千葉県での宿泊学習を経験しました。事前の学習で、集団生活について、いろいろなことを学びました。ルールや時間、マナーをきちんと守らなければいけないのはもちろんですが、宿泊学習という、集団生活でしかわからない、他の人の良いところ、すてきなところをたくさん見つけることができる良い機会であったわけです。豊かな自然や山、海、歴史、伝統文化など学ぶことができたことはたくさんありますが、同じ集団生活を送る、仲間とのふれあいの中で、成長していくことができたという達成感は、今後の成長に大きく結びついていきます。

学校生活も後半戦。クラスメイトとの友情も深まっていますが、上北小の子供たちには、是非、社会の、 そして世界中のすべての人と、上手にコミュニケーションをとることができるようになってほしいと思いま す。学校教育目標の「なかよくたすけあう子供」が、「なかよくたすけあう大人」へと成長するために、保 護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

12月・1月の行事予定

- 1日(月)避難訓練 クラブ活動
- 2日(火)個人面談⑤ 安全指導 連合音楽鑑賞<5年>
- 3日(水)音楽集会 4時間授業
- 4日(木)社会科見学<3年>
- 5日(金)5時間授業
- 8日(月)校内研究のため4時間授業(1年3組以外)
- 9日(火)社会科見学<4年>
- 敬老館交流<3年> 10日(水)体育集会 委員会
- 11日(木)カリオスタット<5年>
- 12日(金)社会科見学<6年>
- 13日(土) 音のコンサート<1・2年> 米米大作戦<5年>

- 15日(月)特別時程
- 16日(火)特別時程
- 18日(木)4時間授業
- 19日(金)展覧会 情報モラル教室<5年>

薬物乱用防止教室<

- 20日(土)展覧会 5時間授業
- 22日(月)振替休業日
- 23日(火)天皇誕生日
- 24日(水)児童集会
- 25日(木)特別時程5時間 全校朝会
- - 8日(木)全校朝会 6時間授業 給食あり
- 10日(土) もちつき大会<6年>

